

平成25年12月5日  
四国地方整備局 四国技術事務所

## 災害に備えて無線操縦式建設機械の技術者を養成します

～無線操縦式油圧ショベルの操作訓練の開催～

四国技術事務所では、近畿以西で唯一「空輸対応型油圧ショベル（無線操縦式）※」を保有し災害に備えています。

今回、地元建設業者を対象に空輸対応型油圧ショベル等を使い、遠く離れた場所からショベルに搭載したカメラから映し出される映像を見て無線操縦する訓練をおこないます。

日 時：平成25年12月11日（水） 9：00～17：00  
12月12日（木） 9：00～17：00

場 所：国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所 構内  
香川県高松市牟礼町牟礼1545

参加予定者：地元建設業者、整備局職員 30名程度

※「空輸対応型油圧ショベル（無線操縦式）」（国土交通省で開発した機械）とは、ヘリコプターで吊り下げ可能な重さまで容易に分割できる構造をした油圧ショベルで、陸路では災害現場に輸送できない場合に活躍します。

また、無線操縦式ですから二次災害の発生が予想される災害現場でもオペレータはショベル本体から150m程度離れた安全な場所から遠隔操縦できる機能を有しています。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.6 防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。

問い合わせ先：

国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所

副所長 谷脇準蔵（内線205）

施工調査・技術活用課長 元木真二（内線381）

TEL（087）845-3135（代表）

災害現場における無線操縦式油圧ショベルの活躍  
(H23 紀伊半島大水害災害復旧現場（奈良県五條市大塔町））



平成23年9月台風23号による紀伊半島大水害の災害復旧現場では、人が近づけない危険な現場で四国技術事務所保有の遠隔操縦式油圧ショベルが活躍しました。